

は ま な す

〒098-1601 興部町字興部元町

電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672

年間主題 「 愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう） 」

12月聖句 『 今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。』（讃美歌：きよしこの夜）

（新約聖書ルカによる福音書2章11節）

<巻頭言> マザーテレサから学ぶクリスマスの愛（2008/12 巻頭言）

園長 小山哲夫

サンタクロースは架空の人物ではありません。4世紀ごろ小アジアのミラにいた司教セント・ニコラスのニックネームでした。富豪の家に生まれたニコラスは幼い時に両親をなくし、淋しい子ども時代を過ごしました。しかし、聖書の話聞いて育ったニコラスは、後に神学校に進んで司教になり、両親から受け継いだ遺産で貧しい人・困っている人を助け、子ども達にはおもちゃや本をプレゼントしました。イエス様が自らの命で私たち人間の罪を贖われたように、「愛の心」を実践した人が、セント・ニコラスだったのです。その愛がクリスマス・イブに子ども達にプレゼントを贈る心として、今日に伝わっています。しかし、この頃のサンタクロースは、子ども達にとって単にプレゼントをくれるサンタおじさんになってしまい、物に固執する心を煽っているだけのようになります。



日本の子ども達の生活はとても豊かです。日本の子どもほど何でも持っている子どもは多くはありません。そんな豊かさに対して、[マザーテレサ](#)は次のように語っているそうです。

「私達は忙しすぎます。微笑み交わすひまさえありません。微笑み、触れ合いを忘れた人がいます。これはとても大きな貧困です」

「本当の飢えは、インドやアフリカのような第三世界にありません。本当の飢えは、ニューヨークや東京にあります。誰からも受け入れられず、誰からも愛されず、必要とされない悲しみ、これこそ本当の飢えなのです。」

「人は一切れのパンではなく、愛に、小さなほほえみに、飢えているのです。愛を与え、愛を受け取ることを知らない人は、貧しい人の中で、もっとも貧しい人なのです。」

昨今の日本や世界各地で発生している様々な事件・出来事は、マザーテレサが指摘する「最も貧しい人」が今まで以上に増えてきた結果だと思います。そして、そんな人が特別な地域や特別な家庭の中にいるのではなく、私達のすぐ近くに居るのかもしれません。[マザーテレサ](#)は「愛はまず家庭から始まります。愛は家庭に住まうのです。」と語り、家庭の温かい愛が何よりも大切であると語っています。

約2,000年前、遠い東の国の3人の博士が不思議に輝く星に導かれ、救い主を訪ねてベツレヘムにやって来ました。3人の博士は救い主がお生まれになったベツレヘムの馬小屋にたどり着き、飼葉桶の中で白い布にくるまった幼いイエス様に会うことができました。そして、たいへん高価な「黄金」「没薬」「乳香」を贈り物として捧げ、大きな祝福を受けました。しかし、3人の博士は贈り物が高価であったから祝福された訳ではありません。その当時、毎晩、野宿しながら働かねばならなかった最も貧しかった羊飼いの、もちろん高価な贈り物が捧げられるはずのない彼等は、誰よりも先にイエス様がお生れになった事を知らされ、大きな祝福を受けたのでした。

イエス様は私たちと何ら変わらない人間となって、この世にお生まれになり、そして、貧しい者と共に歩まれ、友なき者の友となられ、罪なき神の子が最も凶悪な犯罪者がつけられるはずの十字架にかかられました。それは、わたしたちが罪と滅びから救われるためでした。イエス様は、罪を持ったままで滅びゆく身代わりに十字架に死ぬために、この世に生まれてくださったのです。傲慢になりやすい私たちが、造り変えられるために救い主となってこの世に来られたのです。これが本当のクリスマスの意味です。

食べ物で苦しんでいるアフリカの人々は、少ない食事でも、おなかをすかせている隣人の為に必ず1人分残しておくそうです。そして、マザーテレサは「心が痛いほど人を愛しなさい」と私達に語り掛けました。余裕や裕福さの中で愛が生まれるのではなく、自分の身を削る思いの中に愛が生まれ、その愛が新しい愛を生み出すのです。イエス様が私達のために十字架にかかられた愛がその出発点であり、クリスマスはそのイエス様が私達の救い主としてお生まれになった事を喜び合い、その喜びに感謝し、分かち合う日なのです。子ども達と物に捕らわれない愛を分かち合いたいと願います。クリスマスの愛が全ての人の上にありますようにお祈りします。

12月行事予定

1日(月) アドベント(待降節) 始まり あそびんこクラブ	15日(月) あそびんこクラブ
2日(火) クリスマス祝会総練習(公民館)	18日(木) 12月お誕生会(デコレーションケーキ)
6日(土) 休園 クリスマス祝会会場準備(公民館)	19日(金) 月末統計
7日(日) クリスマス祝会(公民館)	20日(土) 土曜休園
8日(月) 代休(はこぶねハウス開所)	22日(月) 終業日・クリスマス礼拝 冬休み(～1/15)
10日(水) 2026年度 入園願書 配布開始	1/14(火) 新年度入園受付
13日(土) 土曜休園	1/16(金) 始業日礼拝(午前保育)

<お知らせ>

1、クリスマス・アドベント(待降節)について

- ・クリスマス前の4週間を「待降節」といい、クリスマスを迎える準備期間です。
- ・幼稚園ではアドベントカレンダー・クランツ・リース等で、クリスマスを待ち望みます。



2、クリスマス祝会等については、お手紙でお知らせした通りです。ご覧下さい。

3、クリスマス祝会の写真について(橋本写真館) 注文 12/10～12/18(厳守) 8:30～17:00

購入を申し込まれた写真は、22日(終業日)にお渡しする予定です。

※玄関での手指消毒以外の感染予防対策は行いません。来園される際は、体調をご確認下さい。

写真をご希望の方は、必ず、申し込み用紙に希望写真の番号を記入してお申し込みください。代金は1月に引き落としにさせていただきます。申し込み締め切りの18日を厳守して下さい。

4、12月お誕生会 12月18日(木)

園児がデコレーションしたケーキを食べてお祝いします。アレルギーなどで食べられない場合は配慮しますので、担任にご連絡ください。



5、はこぶねハウスの冬休み利用について 12月10日(火)までに利用申し込み

冬休み期間中、利用希望が多くなりますので、臨時職員で対応しなければなりません。はこぶねハウスを利用される方は、12月10日(火)までに「利用申込書」に利用希望日を記入してお申し込み下さい。

(注) 冬期間、幼稚園前道路が積雪で狭くなります。サンライズ側の駐車はご遠慮願います。

2026年度 園児募集について

是非、多くの方にはまなす幼稚園の教育が、子ども達の幸せにつながることをお伝えください。よろしく願いいたします。入園願書は幼稚園職員室にあります。午前9時～4時(土日・冬休みを除く)までに、取りに来て下さい。希望があれば園児に持たせますので、ご連絡下さい。

※ 昨年度は職員不足で満3歳児(つくし組)募集を中止しましたが、2025年度は満3歳児保育を再開する予定です。該当の方は入園をご検討下さい。

入園願書配布 2025年 12月10日(水)～

入園 受付日 2026年 1月14日(幼稚園) 10時～